

10/23 (月) の行事

訂正

10月12日(木)10時00分配付分
別紙「東開文化交流サロン」受賞理由の修正

報道発表資料の配付日時 10月17日(火)15時00分

発表項目 (行事名)	「令和5年度(2023年度)北海道福祉のまちづくり賞」の受賞及び表彰式について 受賞者：オホーツク、胆振、上川、石狩、渡島管内		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>北海道福祉のまちづくり賞は、福祉的配慮に優れた事例を広く道民や関係事業者を紹介し、普及啓発を図ることを目的として、平成10年「北海道福祉のまちづくり条例」の施行の年にスタートし、今年度で25回目を迎えました。</p> <p>今年度も、公共的施設部門、活動部門、福祉用具部門の3部門で募集を行い、福祉、建築、市民活動等の有識者5名で構成する「北海道福祉のまちづくり懇談会」(座長：北翔大学 佐藤 克之 名誉教授)における意見交換や現地確認等をもとに、次のとおり受賞者を決定し、表彰式を執り行います。</p> <p>1 受賞者 別添「受賞者一覧」のとおり</p> <p>2 表彰式 (1) 日時 令和5年(2023年)10月23日(月)14:00~15:00 (2) 場所 ホテルポールスター札幌 2階 セレナード (札幌市中央区北4条西6丁目) (3) 賞状授与者 保健福祉部長(知事代理)</p>		
参考	<p>関連行事として、受賞者の紹介を含むパネル等を展示する「北海道福祉のまちづくり展」を開催します。</p> <p>(1) 日時 令和5年(2023年)11月2日(木)、6日(月)9:00~17:00 (2) 場所 道庁本庁舎1階ロビー</p>		

報道(取材)に当たってのお願い	当日の出席者には、各種メディア等での写真掲載を望まない方がいますので御留意ください。(該当する方については、当日、御案内します。)また、取材を希望する場合は、事前に下記担当宛て御連絡ください。		
他のクラブとの関係	同時配付	道政記者クラブ	
	同時レタ	オホーツク、胆振、上川、渡島(総合)振興局記者クラブ	

担当 (連絡先)	保健福祉部福祉局地域福祉課(担当者：課長補佐 坂田) TEL ダイヤルイン 011-204-5267 内線25-604 公用スマホ 011-585-6101 内線31326		
-------------	--	--	--

「令和5年度（2023年度）北海道福祉のまちづくり賞」受賞者一覧

1 公共的施設部門（2件）

番号	施設の名称	所在地	受賞者	
			所有者	設計者
1	遠軽町芸術文化交流プラザ	紋別郡遠軽町 岩見通南1丁目1番地2	遠軽町	石本・日本都市設計 特定委託業務共同企業体
2	東開文化交流サロン	苫小牧市東開町2丁目12番22号	苫小牧市 福祉部総合福祉課	株式会社渡辺建築設計 苫小牧本社

2 活動部門（5件）

番号	団体名	所在地	主な活動内容
1	音訳グループ旭川本の会	旭川市常磐公園 旭川市中央図書館	昭和57年から、対面での音訳活動、 録音図書や情報図書を作製。
2	札幌市立新川中学校 5組 (特別支援学級)	札幌市北区 新川4条3丁目1番1号	特別支援学級の独自の取組として 町内清掃活動等を実施。
3	ダブル・シー・ウォーカー W.C.Walker	札幌市西区 山の手3条9丁目3-8 環境複合研究所 気付	車いす使用者が、当事者目線から公園等の環境を調査。 調査結果をブログや動画で発信。
4	RUN伴北海道実行委員会	函館市千歳町22番6号 理想福祉株式会社	「認知症になっても住みよいまち」を目指して、 様々な人々が参加するタスキリレーを道内各地で実施。
5	函館市女性会議	函館市石川町311-16	「誰ひとり取り残さないまち函館」を目指した、 障がい者がモデルのファッションショー等、 多彩な活動。

3 福祉用具部門（0件）

該当なし

「令和5年度（2023年度）北海道福祉のまちづくり賞」 受賞理由

1 公共的施設部門（2件）

●遠軽町芸術文化交流プラザ

- ・所在地 紋別郡遠軽町岩見通南1丁目1番地2
- ・所有者 遠軽町
- ・設計者 石本・日本都市設計特定委託業務共同企業体
- ・受賞理由

【駅とつながる「吹奏楽のまち」にふさわしい芸術と文化の交流プラザ】

JR遠軽駅とつながったことで利便性が良く、誰もが安心して利用できる。明るい陽だまりのホワイトエから、階段やエレベーター、バリアフリートイレへの動線は分かりやすく、センスのよいサインで案内されている等、福祉的配慮に基づく整備が行き届いている。

内装には地域特産の木材を使用し温かみがあるほか、音響効果の優れた大ホールは、座席の前後幅や車いす利用者用のスペースにゆとりがある。音楽コンサートだけでなく、演劇や講演会等、幅広い利用が見込まれる将来性が評価された。

●東開文化交流サロン

- ・所在地 苫小牧市東開町2丁目12番22号
- ・所有者 苫小牧市福祉部総合福祉課
- ・設計者 株式会社渡辺建築設計 苫小牧本社
- ・受賞理由

【多様な利用者を想定し、細やかな配慮のある、共生型地域福祉拠点のお手本】

図書機能と福祉拠点機能を兼ね備える中央図書館とNPO法人が協働で運営管理している共生型地域福祉拠点。

点字ブロック、デジタルサイネージモニター、フラッシュランプの設置や空間設計等は、当事者団体等の意見が反映されており、多様な人への配慮が至るところに感じられる。

また、地域の課題解決に一翼を担う見守り支援員の配置、利用者の安全や安心感を意識した設備や設計も評価された。子どもたちが喜びそうなアイデアのほか、図書スペースやギャラリースペースも工夫にあふれており、今後の手本となる施設である。

2 活動部門（5件）

●音訳グループ旭川本の会

- ・所在地 旭川市常磐公園 旭川市中央図書館
- ・受賞理由

【視覚障がい者への思いから始まった、昭和57年から続く音訳活動】

「視覚に障がいのある方々にも等しく本に接して頂きたい」との思いから、昭和57年より対面での音訳活動を開始。その後、録音図書、新聞・月刊誌、図書館の新刊図書の案内等の情報図書、利用者の希望に応じたプライベート図書の作製に取り組んできた。

長年にわたり取組みを継続している点、技術向上のために定期的な研修会を実施している点が高く評価された。

●札幌市立新川中学校 5組（特別支援学級）

- ・所在地 札幌市北区新川4条3丁目1番1号
- ・受賞理由

【特別支援学級の生徒たちに自信をもたらす町内清掃活動】

特別支援学級の独自の取組みとして、町内清掃活動を行っているほか、地域の神社の祭りでの作業製品即売会にも活動の場を広げている。感謝の声かけをもらう等の地域住民とのふれ合いを通じて、生徒たちに前向きな変化が見られている。

地域との交流を障がいに対する理解につなげ、将来の生徒たちの自立を目指す活動である点が高く評価された。

● ダブルユ シー ウォーカー W . C . Walker

- ・所在地 札幌市西区山の手3条9丁目3-8 環境複合研究所 気付
- ・受賞理由

【車いす使用者目線で行う身近な環境に関する調査・情報発信活動】

車いす使用者の当事者が、車いす使用者の目線から公園を中心に環境調査を行い、その結果について自身のホームページ上で情報発信を行うほか、大学の講義で成果の報告を行っている。

当事者意識に基づき地道な活動を継続している熱意や、学生の視点や社会に変化をもたらすことが期待される活動である点が高く評価された。

●^{らんども}RUN伴北海道実行委員会

- ・所在地 函館市千歳町 22 番 6 号 理想福祉株式会社
- ・受賞理由

【だれもが住みよいまちづくりへの想いと心をつなぐタスキリレー】

「認知症になっても住みよいまちは、障がい者も子どもも観光客も過ごしやすい街」をテーマに、道内各地でタスキリレーを実施。認知症当事者、車いす使用者、子ども等、様々な人々が参加してきた。

認知症等の当事者が参加している点、引きこもりがちになる認知症当事者を外に向かわせる活動である点が高く評価された。

●函館市女性会議

- ・所在地 函館市石川町 311-16
- ・受賞理由

【「誰ひとり取り残さないまち函館」の実現を目指す、市民の意識改革活動】

平成 24 年度より、男女共同参画の視点で防災を伝える場として、毎年、講演会を開催してきた。近年では、防災講座や体験型ワークショップ等を実施するイベント、障がい者がモデルのファッションショー、女性がん患者の方に向けた貸切温泉等に活動の幅を広げているほか、高校生が活動主体のイベント開催にもつながっている。

女性ならではの視点と発想で、長年にわたり市民の意識改革に取り組んできた点、多様な人々を巻き込み、活動が拡大してきた点が高く評価された。